

授業科目名	母性看護	担当者	三村 みのり
単位	—		
時間数	22時間	学年	1学年
授業形態	講義・演習	開講時期	後期
授業の到達目標	女性の特性及び、ライフサイクル各期の特徴と看護について理解する。 正常な妊婦、産婦、褥婦、新生児の看護について理解する。		
授業の概要	母性看護学は、次世代の健全育成を目指し、母性の一生を通じた健康の維持・増進、疾病を予防し、正常な妊娠・分娩、産褥、さらに育児を通して、健康で平和な家庭生活を営む援助について学ぶ。対象を理解できるように母性の概念や母性を取り巻く社会の現状、女性のライフサイクル各期の特徴及び性と生殖に関する健康とそれぞれに対する看護を理解する。		
授業計画	<p>第1章 母性看護概論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母性の基本概念と特徴 ・母性看護とは ・母子保健の現状と動向 ・女性の権利と自己決定への支援 ・母性看護における安全管理 <p>第2章 ライフサイクル各期の特徴と看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胎児期～学童期、思春期、性成熟期、更年期、老年期の母性看護 ライフサイクル各期の特徴と健康支援 <p>第3章 正常な妊婦・産婦・褥婦・新生児の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊婦・産婦・褥婦・新生児の理解と看護 <p>沐浴演習</p>		
テキスト	新看護学14 母子看護 医学書院		
評価の方法・基準	筆記試験(100点)		